

その 1

①

1. 夢見ていた文化を切に探求し、様々な人と行動し、絶えず心躍らせる週末を過ごす期間。
2. 私の母国の文化と滞在先の文化の違いは、もはや魅力的なものではなく、むしろ苦痛を感じるものであった。
3. 私が予想していなかったことは、どうしようもないくらい家に帰りたくなるということだった。私は一刻も早く日本を発つ計画さえ立て始めた。
4. 私は飛行機に乗ることを恐れていたが、その恐怖心のせいで、日本へ向かう飛行機に乗り込むことができないということではなかった。
5. 海外留学やカルチャーショックを経験する人は、その後の人生で、変化により対応できるということ。

②

1. もし褒め言葉が適切に伝われば前向きな気持ちになるので、まるで魔法にかかったかのように物事がうまくいく。
2. だから褒め言葉は努力を続けるためのやる気を起こすのに効果的である。人は、他人から褒められることをさらにやろうとする。
3. 褒める行為に何かほかの意図があったのではないかと疑われ、人間関係を全く台無しにすることもある。
4. ある会議での発言が素晴らしかった場合、「会議でのあの質問への切り返しは見事だったよ。そのおかげで話し合いがうまくいったよ。」というように、褒め言葉は具体的であればあるほど効果的であるということ。
5. 褒め言葉がもたらす良い雰囲気は、私たちがその意味を理解すれば、気分を変えるのに十分効果のあるものになりうる。

その2

3

1. ..., ways to establish the connections that allow us to care for the persons...
2. 当たり障りのない会話をするには、医師と向き合っている患者の気持ちを解きほぐし、医師は悪い知らせを告げるだけでなく患者の大きな不安を解消する存在にもなり得る、という印象を伝えること。
3. 患者たちはまた、医師は自分とは立場が違うという感情を非常にしばしば生じさせる不信感を拭き去り、さらには恐ろしい、得体の知れない、詳しくは知ることもできない今後の治療法を決めることに協力的な姿勢を見せる可能性が高くなる。
4. 患者と、彼らの近所の知りあい、叔母、散髪をしてもらう人、との間で築かれるような心を開いた人間関係。
5. かつて往診することで医師と患者の間に生まれた打ち解けた人間関係を、外来患者や入院患者に対する短時間の診察の中で構築するのは不可能としても、治療計画を知らせるだけにとどまらず、まず患者と心のつながりを持つことは、話の切り出し方ひとつで可能である。
6. 私たちが言いたいのは、診察で患者と医師が膝を交える最初の瞬間においては、医療従事者としてよりも一人の人間として患者に接することのほうがしばしば重要であり、患者と心のつながりを持つことに力を入れることは、治療を行う上で必要な情報を両者が交換するために不可欠である、ということである。
7. 一つの目的に対して直接関係があることを優先する社会において、他愛のない会話をするというように直接的には無意味に思える行為がないがしろにされているが、実は非常に大切であること。

4

解答例

I use the Internet about at least ten hours a week. When I want to get some information, what I first do is turn on my computer. I seldom read books and consult a dictionary to get information. So I am so addicted to the Internet that I can't live without it. (52 語)

5 B

- (1) Human brains, which can handle words, are extremely elaborate. Not only can they accumulate much information but guess what two irrelevant words mean when used together, or missing words in illogical sentences.
- (2) In other words, human brains never reject illogicalness but will make it logical enough to understand. This is one of the reasons why we often illogically speak or think in our daily lives.